

Japanese
Wedding Ceremony
65-0220X

結婚式

ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国
1965年02月20日X



www.messagehub.info

ウィリアム・マリオン・ブラハム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7

はじめに

際立ったウィリアムブラナムのミニストリーは、マラキ4章4,5,6及びルカ書17:30と黙示録10:7と多くの聖書の預言に対する聖霊からの答えなのです。この世界規模のミニストリーはこの終わりの時に聖霊による神の御業の継続なのです。それは聖句の中にあり、イエスキリストの再臨のためにある人々を整えるために立ち上げるために必要とされていると書かれています。

あなたが祈り深くこのメッセージを読むとき、この印刷された御言葉があなたの心に刻まれるようにと祈ります。

メッセージの正しい転写、翻訳を提供できるように最善を尽くしておりますが、英語の録音がウィリアムブラナムによって語られた説教をもっともよく表しているものです。

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

れるあの偉大な婚宴を待ち望む者となりますように。

たとえ主が遅く見えるとしても、主は必ず来られます。

そして今日ここを去る時、このことが私たちの思いと心の中に新たに結び直されますように。

また私たちが、あなたに対して新たに自分自身をささげ、この世に汚されることなく生きることを誓う者となりますように。

それによって、いつの日か、間もなく来ようとしているあの偉大な式典にあずかる者となることができますように。

このことを、イエスの御名によってお願いいたします。

アーメン。

主があなたがたを祝福してくださいますように。

結婚式

1 この女性を、この男性の妻として差し出すのは、どなたですか。

愛する皆さま、私たちは今、神の御前に、またこの会衆の前に集まっています。それは、この男性とこの女性とを、聖なる婚姻において結び合わせるためです。

この婚姻は、聖パウロによって、すべての人の間で尊ばれるべきものと命じられています。ですから、これは決して思慮なく、また軽々しく入るべきものではなく、よく考え、慎み深く、そして神を畏れる心をもって入るべきものです。

今ここにいるこの二人は、この聖なる状態に結び合わされるために来ています。

もしここに、この二人がこの聖なる婚姻において正当に結ばれるべきではないという、正当な理由を示すことのできる方がおられるなら、今ここで申し出てください。

そうでなければ、今後永久に口を閉ざしてください。

2 私は、あなたがた二人に求め、また厳かに申し渡します。

すべての人の心の秘密が明らかにされる審判の日に、あなたがたが必ず申し開きをすることになるように、もしあなたがたのどちらかが、この婚姻において正当に結ばれるべきでない何らかの妨げを知っているなら、今ここでそれを告白しなさい。

なぜなら、神の御言葉が許しておられない形で結ばれる夫婦の結婚は、正当なものではないと、あなたがたは確かに知っておくべきだからです。

しかし、あなたがたが、これから引き受けようとしているこの厳粛な責任を十分に考え、敬虔に、慎み深く、冷静に、そして神を畏れる心をもって、この婚姻に入る備えをしてきたものと信じます。

それゆえ、私はこれより、あなたがたに結婚の誓約を問いかけます。

あなたがたは、右手を取り合いながら、その誓いを宣言してください。

3 あなたは、この女性を、あなたの正当に結ばれた妻として迎え、この聖なる婚姻の状態において共に生きることを望みますか。

あなたは、病める時も健やかなる時も、富める時も貧しき時も、彼女を敬い、愛し、慈しむことを約束しますか。

また、他のすべての女性を離れ、あなたがた二人が活着ている限り、ただ彼女だけに寄り添い続けることを約束しますか。

あなたは、この男性を、あなたの正当に結ばれた夫として迎え、この聖なる婚姻の状態において共に生きることを望みますか。

あなたは、病める時も健やかなる時も、富める時も貧しき時も、彼を愛し、敬い、慈しむことを約束しますか。

また、他のすべての男性を離れ、あなたがた二人が活着ている限り、ただ彼だけに寄り添い続けることを約束しますか。

私は、この契約が常に守られることのしるしを求めます。

それでは、もう一度、互いの右手を取り合い、その手を聖書の上に置いてください。

皆で頭を垂れましょう。

4 全能なる神よ、すべてのものの偉大なる創造主、永遠のいのちの創始者、またすべての良き賜物を与えてくださるお方よ。

あなたが人に贈り物を与えることをよしとされた時、あなたは彼に妻をお与えになりました。

こう書かれています。「妻を見いだす者は、良きものを見いだす」と。

そして今日の午後、私たちがここに立つ時、幾千年もの時をさかのぼり、最初の結婚式が執り行われた時のことを思い起こします。それは、父よ、あなたご自身によって、エデンの園で行われました。あなたは私たちの父母であるアダムとエバを結婚させてくださいました。そして今日に至るまで、男は妻を迎えてきました。

父よ、どうかこの若い男性とこの若い女性を祝福してください。彼らは互いの心の中に愛を見いだしました。

そして今、私たちが活着ているこの無分別な時代、多くの離婚があり、家庭の崩壊がある中で、どうかこの夫婦にはそのようなことがありませんように。

彼らが活着ている限り、この誓いを忘れることがありませんように。

彼らを引き離す力が、決して何一つありませんように。

父よ、あなたがイサクとリベカを祝福し、生涯にわたって幸せにし、また実り豊かな者とされたように、この若い男性とこの若い女性にも同じようにしてください。この公の場で、お願いいたします。

彼らはこのことに同意し、互いにひそかに語り合い、そして今、教会とこの会衆の前に来て、互いに誠実な誓いをささげました。そして、この公の場でそのように行い、宣言しました。

今、父よ、全能なる神によって、神のしもべとなるべく私に与えられた任命の力により、また御使いによって私に証しされたこの権威によって、私はこの男性とこの女性とを、イエス・キリストの御名によって、夫と妻であると宣言します。

アーメン。

5 神があなたがたを祝福してくださいますように。あなたがたは結婚しました。

神が結び合わせられたものを、人が引き離すことがありませんように。

会衆の皆さまは、閉会のためにご起立ください。

私たちの父よ、今日の午後、地上にはなお、あなたを信じる男性たち、女性たちがいることを感謝いたします。

そして今日ここにいる私たちの多くも、同じ目的のために、同じような時を通ってまいりました。

私たちは今、この若い男性と若い女性を見て、思い起こします。彼らは、聖く、この世から離れ、ほかの伴侶から離れ、ただ互いのために生きることを同意しました。

それと同じように、私たちは教会のことを思い起こします。教会もまた、聖く生き、この世から離れ、分かたれ、花婿の来臨を待つことに同意しているのです。

私たちの心が、主への愛に鼓動しますように。

私たちの思いが主に向けられ、いつの日か主が来られる時、空中で行わ